

〈特集〉 電気科で何を学ぶの？

モーターで世界へ！



身のまわりには、動くもの、回るもの、ブルブル（振動）するもの、運ぶものなど、動作する仕組みをもつものがたくさんあります。それらには**モーター**が組み込まれているものが多いです。

家のなかだけでみても、モーターは電気製品、おもちゃなどいろいろなものを動かしています。家電・商業・産業用としてモーターは大活躍です。

電気科では「電気機器」という科目で、主にモーターや関連する機械・設備・機器などの仕組みや利用について学習をします。

日本ではモーターで使われている電気の割合は年々増えていて、現在は消費される電力量の60%に達しています。世界では半分くらいといわれています。

つまり、モーターのない生活は考えられません。

全世界で電力消費量が増える中で、深刻な電力不足、エネルギーの確保が問題になっています。問題を解消する方法のひとつに、「よいモーター（効率がよく使いやすいモーター）」の普及が不可欠です。

モーターを学ぶことは、多くの「ヒト・モノ・コト」にかかわることでもあり、環境問題、エネルギー問題の解決に役に立つことができるでしょう。

また、ワクワクするものを作ることにもつながっていきます。